

しゃきよう

おおいそ

新年号

しゃきよう
社協とは社会福祉協議会の略です

No. 106 2012 Jan

社会福祉 法人 大磯町社会福祉協議会

〒255-0003

大磯町大磯1352番地の1

大磯町立福祉センターさざれ石内

電話 0463-61-9390

FAX 0463-61-7614



第22回 大磯町社会福祉大会のようす ご協力 大磯小学校合唱団

※社会福祉大会の内容は2ページ3ページに特集しています

年頭のごあいさつ

大磯町社会福祉協議会

会長 児玉 佐安子



輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、東日本大震災による水害や風評被害という

心痛む出来事がありました。このような中で大磯町社協には、多くの義援金が寄せられましたことを深く感謝申し上げます。

震災によって、改めて家族の大切さや地域の方々とのふれあいの温かさ、そして人々との絆を強く感じた一年でした。

被災地では、今なお多くのボランティアの方々活躍されています。大磯町社協でも、永年に渡り様々なボランティア活動が繰り広げられており、このような日々のふれあいが、人々の絆を深め、安心して暮らせる町づくりの実現へと繋がるものと考えます。さらに、今後のボランティア活動の「絆」を心から願っております。

役職員一同、本年も一層努力してまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「第22回大磯町社会福祉大会」が開催されました

福祉活動功労者の皆さま



大磯町社会福祉協議会では、10月29日(土)、第22回大磯町社会福祉大会を開催。式典では福祉活動功労者の表彰や大磯町福祉作文コンクールの入選者の表彰が行われました。

昨年は台風のためアトラクションが中止になるなど、開催時間を短縮した大会となりましたが、今年は大変にも恵まれ、多くの方が式典をはじめ表彰式やアトラクション、バザーなどにお越しいただき大変にぎやかな大会となりました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

福祉活動功労者の表彰と感謝

今年は、19名と2団体の方々の表彰、ならびに4名と6団体へ感謝状を贈呈いたしました。

<表彰>

(敬称略 順不同)

・永年にわたり社会福祉活動の発展に寄与されました

石川 榮子 碓井 和枝 内田 敦子
鈴木 美智子 中村都岐子

・永年にわたりボランティア活動を通じて社会福祉の発展に寄与されました

尾崎 久子 寺地マスエ 柳田喜八郎
飯田八重子 伊沢 弘子 梅田喜代志
柏木佳代子 小島きう子 斉藤 清美
土屋キク江 角田 史子 守屋 貞子
守屋タツ子 吉田マリコ
身障者介助ボランティア
録音ボランティアひびき

<感謝>

(敬称略 順不同)

・社会福祉活動に貢献されました

高麗地域福祉推進委員会
長者町地域福祉推進委員会
南下町地域福祉推進委員会
中丸地域福祉推進委員会
国府新宿地域福祉推進委員会
石神台地域福祉推進委員会

・永年にわたり児童福祉に貢献されました

小島 洋子 角田 修代 仲手川千景
新倉 仁美

福祉作文コンクール入選者

町内の小・中学生 41 人が応募。10 人が入選に輝きました。

<小学生の部>

(敬称略)

賞および作品名	氏 名	学校名
大磯町社会福祉協議会長賞 福祉体験をして	武智舜太郎	国府小学校
神奈川県共同募金大磯町支会長賞 私に出来る福祉	今井 未佳	国府小学校
佳作 笑顔がいっぱい福祉体験	二見 悠太	国府小学校
佳作 福祉体験学習で思ったこと	大河内このみ	国府小学校
佳作 私の体験した福祉	仙北谷あすか	大磯小学校

<中学生の部>

賞および作品名	氏 名	学校名
大磯町社会福祉協議会長賞 福祉と高齢化社会	松田 美紗	国府中学校
神奈川県共同募金大磯町支会長賞 大きな思い	堀井 美沙	大磯中学校
佳作 共に生きる	大橋 花歩	大磯中学校
佳作 あげない優しさ	草山 祥枝	大磯中学校
佳作 福祉を実現するために	力久 萌	国府中学校

アトラクション出演者 紹介

シニア・小学生による合唱

- ・ドルフィン&ブルーエコー
- ・大磯小学校合唱団 (表紙写真)

フラダンス

ナーレイ フル ナニ
オ ケ カイアーウル



福祉作文コンクールに入選された
児童・生徒の皆さま

福祉作文コンクール大磯町社会福祉協議会長賞受賞 作品紹介

福祉体験をして

国府小学校 五年 武智 舜太朗



ぼくは、夏休みに町の福祉センターで、福祉体験をしました。おじいちゃん、おばあちゃんの生活のお

手伝いです。お風呂に入った後のかみの毛をタオルドライヤーでかわかしたり、くしでかみの毛をとかしてあげたりしました。おじいちゃん、おばあちゃんの話も聞きました。お昼ごはんの用意をして、一人一人にはいぜんをしました。その時におじいちゃん、おばあちゃんを使うエプロンやお手ふきをくばってあげました。

福祉体験をする前日までは、緊張感で逃げ出したいと思っていました。ぼくは、自分のおじいちゃんとおばあちゃん以外のおじいちゃん、おばあちゃんと、あまりしつめたことがありません。だから、何を話したら良いか分からないし、どうせしたらいいか分からなくて不安で、ぼくで出来るか心配だったからです。でも、福祉には興味があったし、人の役にたつ仕事をしてみたかったから、当日はがんばりました。

自己紹介をしたら、こっちを見てくれました。興味を示してくれたのかなと思いました。おじいちゃん、おばあちゃんのかみの毛をさわった時にどきどきして、こわごわやってしまったけど、かわかしてあげたら、

「ありがとうねえ。」
 と言ってくれました。すごくうれしかったです。はいぜんは、くばる人数も多くて、お手ふきやエプロンも手ぎわ良くて、おじいちゃん、おばあちゃんの手が、いそがしく大変でした。量が多いので、運ぶ時にこぼさないか心配で

した。はこんでいったら、少し笑ってくれました。おじいちゃんやおばあちゃんとお話をしたときに、戦争の話をしてくれました。ぼくの知らない事を色々教えてくれました。凍傷になったときは、火にあたらず、体を動かして、自分の体の熱で温めるんだと教えてくれました。

おじいちゃん、おばあちゃん、僕と年が離れている分、色々な経験をしてきたから話に引きこまれました。僕と同じ合いう気持ちがあると感じました。一日の体験でも大変だったから、毎日お話をする職員さん達は大変だと思うけど、ありがたの言葉を聞いたり通じ合う気持ちがあるから、がんばれるのだと思いました。ぼくは、福祉体験を通じて、人の役に立つ仕事の大変さと、うれしさを知りました。これからも、人の役に立つ仕事をしてみたいです。

福祉と高齢化社会

国府中学校 三年 松田 美紗



私は、これからお年寄りの方々とともにくべきだと思います。なぜなら、日本は

お年寄りがとても多い高齢社会だからです。第二次世界大戦後、ベビーブームがあり、医療が発達したりとお年寄りの割合がどんどん増えてきています。約一〇年後、二〇二五年には国民の約二五％はお年寄りという推計値が出ています。四人に一人はお年寄りという計算です。このことから今、私たちはお年寄りのみなさんとはぜったいにかかわりあっているかなくてはならない状況にあるのです。ですが、今このことは日本全体として

考えると、かわかりが強かったり弱かったりと完全にはできていないと思います。近年、日々とびかうテレビやニュースの中に『孤独死』という言葉がでてきます。なぜ、こういったことがおきているのでしょうか。それは、人とのかわりを持てないからです。

孤独死をされてしまった方たちは、みんな一人暮らしの方たちで、しかも病気にかかっていたことが多いようです。家からあまり出られず、とてもさびしく辛い生活をおくっていたはずなんです。そういった方々が求めているものというのは、「自分たちがより動ける若い人たちの積極的な手助け」だと思います。もし、これがちよつとでもあったなら、孤独死をされるというのとはなかつたのではないのでしょうか。私には祖母がいます。その祖母は、

一〇年前に祖父を亡くし、今でもずっと一人暮らしの生活をしています。そして何年前かにリユーマチという病気になってしまい、歩くのが前よりちよつと困難になってしまいました。重いものをもつたり、一人で出歩くことが難しいので、今私達家族みんなで協力して週一度祖母のため、買い物したり、ゴミすてをしたり、母が病院につきそってあげたりしています。そして時々祖母は家に遊びにきます。ご飯も一緒に食べたりして、お話もたくさんするのですが、その時の祖母はとっても幸せそうです。

一人暮らしをしているのに、とても明るく元気なのは、私たち家族と接しているからだだと思います。話すことで、祖母はパワーをもらっている。そんな気がするのです。

人はだれかの支えがないとぜったいに生きてはいけません。たった一人でも交流を深めあうことができれば、その輪は

しだいに広がっていき、楽しく充実した生活をおくることができるはずです。『誰かと話す』たったこれだけで笑顔で、幸せな気分になります。私たちはこのことを支え、後押しするために行動をしていくべきだと思います。

ですが、例えば家族がいないお年寄りの方々はとうなるのでしょうか。そこで重要となってくるのは地域の人々の支えです。

以前私は子ども会に入っていて、敬老の日手作りカードをお年寄りがいる家に一軒一軒配りに行ったことがあります。その時、お年寄りの方々は笑顔でむかえてくださり、お菓子まで用意してくださったことを覚えています。そのあと、顔見知りになり、あいさつができるようになった方もいます。

まず、こういった小さなことからかわりをもっていくことが大切なことなのではないでしょうか。地域の人々とのつながりがあれば、家族のいないお年寄りの方々でも笑顔でいられると思うのです。

このように、これからの社会にむけて私たちは、かわかりを持つていくべきなのです。家族、地域の人々が丸となり、お年寄り一人一人を支えていくことが今の社会にとつて必要なこととなっているのではないのでしょうか。ここで大切なことは、お年寄りに「関心」を持つこと、お年寄りのためにどう行動をしていくべきか、考えるということなんです。誰でも、やがては必ず『お年寄り』という年代になってしまうのです。お年寄りに対して優しい心で接しあい、子どもも大人と一緒に教え、教えられ、支え、支えられる社会になれるように行動していくべきだと思うのです。

地域福祉推進委員会の活動

紹介します

5



社協では各地域福祉推進委員会の活動に、皆さまからいただいた社協会費の一部を助成しています。前回に続きまして各地域福祉推進委員会の活動を紹介させていただきます。

月京地域福祉推進委員会

健康とふれあいの輪を 助け合いの和にしよう



月京地区

とふれあいの輪が、助け合いの和となつて地区全体に広がるよう願っています。

月京地域福祉推進委員会では、健康と地区のふれあいのもとに、幼児から高齢者までが参加できる「健康ウォーク」をみかん狩りを兼ねて行っています。

また、「成人病講座」の企画もしています。その他に地区のお祭り、盆踊り、敬老会等の行事にも積極的に参加しています。

これらの活動を通じて、健康

『地域福祉推進委員会』 ってなに？



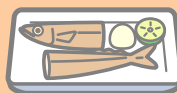
●地域福祉推進委員会は、各地区ごとの福祉活動を企画推進する委員会です。

- 町内24地区に設けられています。
- 推進委員は、区長、民生委員児童委員、地区ボランティア、各種団体の役員によって構成されています。
- 地域福祉推進委員会の活動費は、町民の皆様からご協力をいただきました社協会費の4割を還元して充てています。

大磯町社協の 福 幸 支 援

大磯町社協では、東北地方の名産品を購入し、東北地方への福幸（復興）支援をしています。

岩手県大船渡からさんまを購入しました。



◀福島県喜多方ラーメンを購入し、社会福祉大会のパザーで販売をしました。



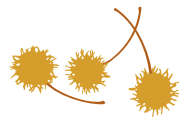
在宅介護者のリフレッシュ交流会

大磯町社会福祉協議会では、日頃在宅で介護をしている家族の方々を対象に、11月9日(水)「在宅介護者のリフレッシュ交流会」を行いました。今年度は参加者多数で、富士浅間神社・河口湖ミュージアム館を見学しました。当日は天候にも恵まれ、紅葉の鮮やかさもすばらしく、笑顔あふれる楽しい交流会となりました。



介護に追われ心に余裕がなく、
ふと自分を省みる時間を与えて
戴き感謝をこめてありがとうございました。

参加された方からいただいたお便りより



紅葉、お天気よく楽しめました。
ありがとうございました。

参加者の声より



在宅介護者のリフレッシュ交流会

第2弾!!

参加者募集

在宅で介護をされている皆さん、自分自身の“こころ”
と“からだ”のリフレッシュをしませんか。

と き 平成24年2月29日(水)9:30～16:30

集合場所・時間 9:00 大磯町役場 9:15 国府支所

行 程 大磯～江戸東京博物館～巣鴨地藏通り商店街～大磯
(全行程トイレ付バスで移動)

募集定員 35人(先着順)

対 象 町内に在住で65歳以上の高齢者を、在宅で介護
している家族。(車いす貸出可)
バスの乗降が可能な要介護者の同行も可。

参加費用 1人1,000円(昼食・保険代を含む)

申込期間 1月10日(火)～1月31日(火)

土日祝日を除く8:30～17:15

◎問い合わせ・申込み 大磯町社会福祉協議会 電話(61)9390

ほうとう鍋は体が温まって良
かったです。特にB級グルメ
鳥もつ煮もおいしかった。

参加者の声より



ミンナ^Qカオウヤ

大磯福祉ミニショップ

大磯福祉ミニショップでは、町内施設かたつむりの家、素心学院、県内福祉施設、趣
旨に賛同していただいた団体などでつくられた製品や地場のやさいを販売しています。

東北地方の福祉施設の製品も販売予定です。ぜひお立ち寄りください。

営 業 日 毎週 火、水、木、金曜日 11:00～15:00

場 所 大磯町立ふれあい会館内

問い合わせ先 かたつむりの家 TEL.70-1771



9月1日から12月10日まで
に次の方々から大磯町社
協にご寄付をいただきました。
福祉活動のために大切
に使わせていただきます。
(敬称略・順不同)

【寄付金】

西小磯東納税組合・大磯町
社交ダンス愛好会・えぶろ
んの会・のぞみ会・ふれあ
いサロン・ボランティアお
りづる・大磯あじさいクラ
ブ・飯田八千代 中南信用
金庫本店営業部 山王町
商店会 大磯町農業経営
士会 ダンシング湘南
日本キリスト教団大磯教会
合計13件
総額 223,953円

【寄付物品】

媽媽厨房
(高齢者3事業へ食事)
片山真理子(衣類)
匿名(紙おむつ2件)
(車いす)
合計 5件

皆様からの心温まる善意あ
りがとうございました。



「傾聴ボランティア養成講座」 のお知らせ

「傾聴」とは、相手のお話を“聴く”ことです。
その技術を学び、施設などでボランティア活動をし
てみませんか！

と き 全4日(その他1日施設実習あり)
1月17日(火)、1月23日(月)、1月30日(月)、
2月14日(火) いずれも10:00~12:00

ところ 福祉センターさざれ石

参加費 500円(資料代)

対 象 町在住の方。全日程受講可能な方で、講座終了後、
傾聴ボランティアとして活動していただける方。

問い合わせ・申し込み

大磯町地域包括支援センター ☎61-9966



ケアセンターさざれ石 協力員募集



場 所 町立福祉センターさざれ石
日 時 週1日(月曜日から金曜日)

①午前9時から午後1時
②午前9時から午後4時
①1,500円 ②3,000円

協力内容 デイサービス利用者のお手伝い

A 厨房担当: 昼食作り、おやつ作り等

B デイルーム担当

(1)ご利用者とのお話し
(2)お茶入れ、配膳
(3)入浴後のドライヤーかけ等

問い合わせ 大磯町社会福祉協議会 ☎61-9390



社協事業のご紹介 日常生活自立支援事業 ~おいそあんしんセンター~

住み慣れた地域で安心した生活がおくれるよう、あ
なたの暮らしを応援します。

自分一人で契約や判断をすることが不安な方のため
に預貯金の出し入れや通帳・印鑑の管理、併せて福祉
サービスの利用を支援いたします。

ご利用する場合は、弁護士、医師、社会福祉の専門
職、行政職員による審査会の判定に基づき、支援いた
します。

たとえば、こんなことを支援しています！

- ・ヘルパーさんに来てほしい。
- ・お金の支払いでいつも困ってしまう。
- ・通帳、印鑑など大事なものを預かってほしい。

まずは、ご相談ください！そこから手続きが開始します。

ご相談は…

大磯町社会福祉協議会へ ☎61-9390

* 編集後記 *

106号は、社会福祉大会
や、リフレッシュ交流会な
ど、大変盛況に行われた催
しを特集しましたが、皆様
の笑顔や元気が、読者の
皆様に伝わりましたでしょ
うか？

今年も皆様に元気をお届け
できるような紙面づくり
を目指していきたいと思
いますので、どうぞよろしく
お願いいたします。



【賛助会員追加報告】

左記のとおり加入いた
だきましたので報告させて
いただきます。(敬称略)

9月12日 湘南家電
5,000円(1口)
9月15日 柳島屋青木店
5,000円(1口)
9月16日 1件
3,000円(3口)